

第 334 回 経絡按摩・関節運動法講習会

・日時 令和04年07月10日(日曜日) 午前10時から午後5時

・場所 東京都千代田区総評会館501号室

1. 鍼灸実技練習(午前10時から12時)

【練習内容】

(1)押し手の使い方

腰痛の治療で下腿・腓腹筋外側・膀胱経の飛揚穴と、その上下のツボに田中流の強揉み前揉捏を行って、早刺・早抜の刺鍼練習を行います。

(2)腰痛の鍼・温灸治療

・腰痛5点穴の診断

腰痛は大腸俞穴と関元俞穴を中心にして、母指の指先を使って細かく指圧して、関元俞、内関元俞、大腸俞、内大腸俞、外大腸俞の5穴を調べるのが重要です。

これらのツボで最も硬結・圧痛のあるツボを1穴、腰痛穴と判断して治療を行う。

・腰痛と関係する下肢のツボは、経絡に従って縦の関係が強い。

内関元俞や内大腸俞の腰痛は、下肢では腎経のツボと関係が深い。

すなわち下陰谷や築賓、照海などである。

関元俞や大腸俞は、下肢では膀胱経の正中線の経絡と関係が深く、委中、承山などである。

外大腸俞や志室は、下肢では膀胱経の外側の経絡と関係が深く、委陽、飛揚、跗陽などである。

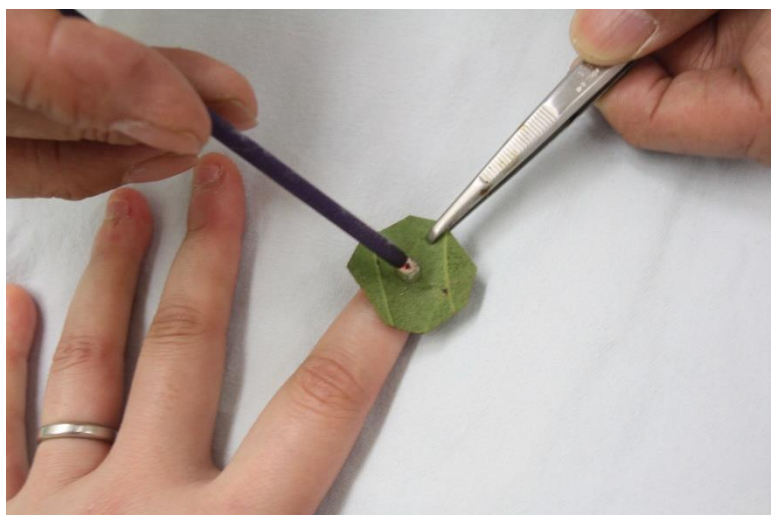
・治療の最初は、側臥位の姿勢で治療する。

腰痛が少し改善すると、股関節を屈曲や伸展をしておいて腰痛を出した状態で治療すると効果が大きい。最後は、立位で腰の前屈・後屈、靴下を履く動作をさせて痛みを出して刺鍼するとさらに改善することができる。

(3)指の逆むけにビワ葉・線香灸か効く

指の逆むけにビワ葉を置いて、その上から線香で熱感を加えると回復が早まる。

図参照



2. 関節運動法(午後1時から5時)

(1)頸部の脊椎椎間関節の関節運動法

①背臥位

第7頸椎棘突起を片側ずつ左右に圧迫すると第7頸椎／第1胸椎椎間関節に滑り法が起こって、のどの症状を改善することができる。

この手技を行って、のどに響いたとき「のどが広がる感じがしますか、塞がる感じがしますか」と聞いて、広がる感じのする方から圧迫すると、のどの症状を改善することができる。

②上下棘突起間の左右圧迫による滑り法

例えば、頸椎6／7椎間関節では、第7頸椎棘突起を右から左に圧迫し、第6頸椎棘突起を左から右に圧迫すると、頸椎6／7椎間関節に滑り法が起こり、関節機能異常が改善される。

咽喉部の症状を改善できる。

③後頭骨／環椎関節の離開法

- ・風池穴の離開法(目の症状を改善できる)
- ・内天柱穴の離開法(鼻の症状を改善できる)
- ・完骨穴の離開法(耳の症状を改善できる)

④頸部後方伸展と滑り法

例えば、頸椎6／7椎間関節の左側の関節機能異常に対して、第7頸椎の上関節突起を右手の中指で圧迫固定して後頭骨を床方向に下げて移動すると、第6頸椎の下関節突起が後方に滑り、滑り法が行われる。

⑤頸部側方屈曲と滑り法

例えば頸部を右に側屈する場合、頸椎6／7椎間関節の操作は、右手の四指で右頸椎7番横突起部を圧迫固定し、左手の四指で左頸椎6番横突起部を右に圧迫しながら頸部を右に側屈させる。

⑥頸部の左右回旋(顔を左右に向ける動作)と胸椎1／頸椎7番の滑り法の組み合わせ

(坐位 治療師は患者さんの後ろ側に位置する)

例えば、顔を右に向けると痛みなどが起こって向きにくいという場合、治療師の右手の母指を胸椎1番棘突起の左側にあてて固定する。

治療師の左手の母指を頸椎7番棘突起の右側にあてる。

患者さんに、「ゆっくり顔を右に向けて下さい」と指示して、頸椎7番棘突起を左に圧迫する。

⑦円背の矯正:頸部の前屈・後屈と胸部・背部の圧迫による胸椎滑り法

(坐位 治療師は患者さんの横に位置する)

背側の手の手根部を胸椎9番あたりにあてる。胸側の手の手根部を胸骨にあてる。患者さんにゆっくり頸・頭を後ろに反って下さいと指示して、胸側の手で胸骨を背側かつ頭側に圧迫する。

3. 按摩実技練習

(1)背腰部の膀胱経2行線のツボを重点的に按摩の実技練習を行う

膈関から外大腸愈まで

背腰部の膀胱経2行線は強い圧で指圧・揉捏を行うために片側ずつ重ね母指で行う。

診断としての母指横揉捏を行う時は、横に大きく揉捏すると最も硬結・圧痛のあるツボを調べることができる。

膀胱経2行線のツボに硬結がある場合、その内側の1行線のツボを指圧・揉捏して、どちらに硬結・
圧痛が強いかわかる。

なお志室穴は最も重要なツボである。

◎テキスト「図解 経絡按摩」参照

◎テキスト「図解 関節運動法」参照

◎機関紙「経絡按摩」参照

◎血圧を上げ下げできる逆捻転DVD参照

・連絡先

東京都港区南青山2-25-10-2F

田中鍼灸指圧治療院 経絡按摩研究会

電話:03-3475-4631

mail:hibiki@s2.dion.ne.jp